

キワニスドール



キワニスドールを制作し、病気の子ども達に贈る活動を行っています。

キワニスドールは、綿を詰めた白無地の人形(身長40センチ、体重約50g)です。

小児科の医師が、ドールの部位を指差して患者の子ども達から病状を聞いたり、治療の説明のために人形に絵を描いたりして、子ども達から不安を取り除いて、診察や治療をスムーズに進めるのに使用されています。また、子ども達も、顔を描いたり、色をつけたりして、自分を「見守る天使」として大切にしています。



会長 棚澤青路

キワニスドールづくり

学校、企業等の会場でもボランティアで製作してもらっています。ご希望の方は事務局にご連絡下さい。

事務局

東京キワニスクラブ事務局

<http://www.japankiwanis.or.jp/tokyo>

〒101-0047

東京都千代田区内神田2-3-2 米山ビル

Tel. 03-5256-4567 Fax. 03-5256-0080

tokyokiwanis@japankiwanis.or.jp

アクセス



地下鉄「大手町」駅 A2出口 徒歩10分

JR「神田」駅 西口出口 徒歩5分

世界の子ども達のために



さあ、みんなで
子ども達のために奉仕しよう!

「キワニスクラブ」は、米国で志を同じくする人々によって作られた<奉仕と親睦のクラブ>です。「ロータリークラブ」「ライオンズクラブ」と並び、世界に広がる三大社会奉仕団体の一つとして1915年に米国で創立され、世界85国以上で約7300のクラブと20万人のキワニアンが奉仕活動に取り組んでいます。

「キワニス」とは、アメリカのデトロイト周辺に住んでいた先住民の言葉「NUN-Keewan-is (皆一緒に集まる)」に由来しています。

現在世界のキワニスクラブはその奉仕活動の中心を、「Serving the Children of the World」、「Young Children: Priority One」のスローガンのもと、未来を担う子ども達のための活動においています。

東京キワニスクラブ

1964年(東京オリンピックの年)に、アジア太平洋地域初のキワニスクラブとして設立。

会員は、30代~90代まで、官、民、弁護士、医師等が一堂に会し、幅広い活動を行っています。

また、近年では、若手、女性会員も増加しています。

(会員数 219名 2016年10月現在)

子ども達のためのボランティア活動、定期的な会合、親睦会等を通じ、「人とのつながり」を大切にバラエティに富んだ活動を行っています。



Kiwanis

一般社団法人 東京キワニスクラブ

